

公 示 日：2026年4月15日（水）

調達管理番号：26a00155

国 名：カンボジア

担 当 部 署：社会基盤部運輸交通グループ第二チーム

調 達 件 名：カンボジア国航行安全性向上のための電子海図作製・更新・普及
能力強化プロジェクト詳細計画策定調査（海図作製計画）

適用される契約約款：

- ・「事業実施・支援業務用」契約約款を適用します。これに伴い、契約で規定される業務（役務）が国外で提供される契約、すなわち国外取引として整理し、消費税不課税取引としますので、最終見積書において、消費税は加算せずに積算してください。（全費目不課税）

1. 担当業務、格付等

- （1）担当業務：海図作製計画
- （2）格付：3号
- （3）業務の種類：調査団参団

2. 契約予定期間等

- （1）全体期間：2026年6月上旬から2026年7月下旬
- （2）業務人月：1.17
- （3）業務日数：

| | | |
|------|------|------|
| 準備業務 | 現地業務 | 整理業務 |
| 4日 | 20日 | 6日 |

3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

- （1）簡易プロポーザル提出部数：1部
- （2）見積書提出部数：1部
- （3）提出期限：2026年4月30日（木）（12時まで）
- （4）提出方法：国際キャリア総合情報サイト PARTNER を通じて行います。（<https://partner.jica.go.jp/>）
具体的な提出方法は、JICA ウェブサイト「コンサルタント等契約の応募者向け 国際キャリア総合情報サイト PARTNER 操作マニュアル」をご参照ください。

(https://partner.jica.go.jp/Contents/pdf/JICAPARTNER_%E6%93%8D%E4%BD%9C%E3%83%9E%E3%83%8B%E3%83%A5%E3%82%A2%E3%83%AB_%E6%A5%AD%E5%8B%99%E5%AE%9F%E6%96%BD%E5%A5%91%E7%B4%84.pdf)

- ◇ 提出方法等の詳細については JICA ホームページ内の以下をご覧ください。
「コンサルタント等契約におけるプロポーザル作成ガイドライン」最新版の
「別添資料 11 業務実施契約（単独型）公示にかかる競争手続き」
<https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/20220330.html>

- ◇ 評価結果の通知：2026 年 5 月 15 日(金)までに個別通知
提出されたプロポーザルを JICA で評価・選考の上、契約交渉順位を決定します。

- ◇ 評価結果説明の取り止め：2023 年 6 月 30 日のお知らせに掲載
(<https://www.jica.go.jp/about/announce/information/consultant/2023/20230630.html>) のとおり、2023 年 7 月以降の単独型公示については評価結果の
説明を取り止めます。

4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等：
 - ① 業務実施の基本方針 20 点
 - ② 業務実施上のバックアップ体制 4 点
 - (2) 業務従事者の経験能力等：
 - ① 類似業務の経験 44 点
 - ② 対象国・地域での業務経験 8 点
 - ③ 語学力 16 点
 - ④ その他学位、資格等 8 点
- (計 100 点)

| | |
|-----------|-------------|
| 類似業務経験の分野 | 海図作製計画 |
| 対象国及び類似地域 | カンボジア及び全途上国 |
| 語学の種類 | 英語 |

5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等：特になし
- (2) 必要予防接種：特になし

6. 業務の背景

カンボジア唯一の大水深港であるシハヌークビル港は、運輸セクターの上位計画「包括的インターモーダル運輸・物流マスタープラン 2023-2033¹」(2023年8月)において海上貿易の玄関口と位置付けられており、同港の安定的かつ安全な運営は、カンボジア経済の発展にとって不可欠である。IMO(国際海事機関)の定める SOLAS 条約(海上における人命の安全のための国際条約)では「海図及び航海用刊行物は、適切なものであり、かつ最新のものでなければならない」と定められており、シハヌークビル港へ入港する本船に対して IMO の規則に沿った情報を提供する必要がある。カンボジア領海の安全はカンボジア国政府が保証しなくてはならないが、現状シハヌークビル港へ入出港する本船が使用する電子海図(ENC)が定期的に更新されておらず、正確な水深が記載されていないことが航路の安全性及び営業上の大きな障害となっている。2027年には円借款「シハヌークビル港新コンテナターミナル整備事業」にて、新コンテナターミナルの開業及び港域の浚渫が予定されており、より深い喫水の船舶の入港が期待されるため、航路の安全確保及び船舶への正確な情報の提供は喫緊の課題である。

カンボジア政府の最上位の開発戦略「第一次五角形戦略」(2023年)において、2030年までに高中所得国、2050年までに高所得国となることを目指し、「経済多様化と競争力の強化」を重点分野として掲げ、「運輸・物流セクターの連結性及び効率性の向上」に取り組むこととしており、航路の安全性向上の観点から本案件は重点項目に資するものである。

また、我が国は開発調査型技術協力「電子海図策定支援プロジェクト」(2013年-2016年)にて、公共事業運輸省(Ministry of Public Works and Transport:MPWT)に対して、電子海図の策定に協力しているものの、同協力は電子海図の策定に重点が置かれたことから、海図の継続的な更新・普及の能力の定着にまでは至っていない。新コンテナターミナルの開業までに最新のカンボジア領海情報を入出港する本船へ提供可能な状態にするためにも、MPWTによる自律的な海図の作製・更新・普及能力の強化が求められる。

以上の背景を踏まえ、電子海図作製・更新・普及能力強化にかかる航行安

¹ JICA 及び世界銀行の支援で作成した「物流マスタープラン」(2018年)に、カンボジア政府が運輸・物流セクターの関連計画・調査結果を統合して策定されたマスタープラン。同マスタープランは、道路、鉄道、河川港、港湾、航空、物流、その他の7つの主要な要素から構成されており、ハード・ソフト両面で投資額計約367億ドルに及ぶ174のプロジェクトが掲載。

全性向上のための技術協力として「電子海図作製・更新・普及能力強化プロジェクト」が、カンボジア政府から日本政府に対して要請されたものである。

本案件は MPWT を対象に、海図作製・更新・普及能力を強化することにより、航路の安全性向上を図り、もってシハヌークビル港の国際的信頼性の向上や円滑な海上輸送の確保に資するものである。

7. 業務の内容

本業務の業務従事者は、技術協力プロジェクトの仕組み及び手続きを十分に把握の上、他の業務従事者や調査団員として派遣される JICA 職員等と協議・調整しつつ、担当分野に係る協力計画策定のために必要な以下の調査を行う。

具体的担当事項は次のとおりとする。

(1) 準備業務 (2026 年 6 月上旬～2026 年 6 月中旬)

① 要請背景・内容を把握(要請書・関連報告書等の資料・情報の収集・分析)の上、現地調査で収集すべき情報を検討し、必要に応じ、カンボジア側関係機関(C/P 機関等)に対する質問票(案)(英文)を作成する。作成した質問票(案)は、現地派遣前に JICA に提出する。なお、情報の収集に関しては、シハヌークビル港の競争力向上への取組に向け、近隣の大型港であるレムチャバン港(タイ)、カイメップ港(ベトナム)における海図整備・更新状況についても事前に机上調査を行う。

② 本案件に係るジェンダー、気候変動対策、生物多様性に関する情報について、それぞれの参考資料を参照しつつ確認し、質問表や現地調査を通じて調査・分析すべき事項を整理する。

・ジェンダー主流化：

<https://www.jica.go.jp/activities/issues/gender/materials/guidance.html>

・気候変動対策：

<https://www.jica.go.jp/activities/issues/climate/adaptation.html>

・生物多様性：

<https://www.jica.go.jp/about/policy/environment/green/biodiversity-fit/index.html>

- ③ プロジェクトの PDM(Project Design Matrix)案、PO(Plan of Operations)案の担当分野関連部分を検討する。
- ④ 対処方針会議等に参加する。

(2) 現地業務 (2026 年 6 月中旬～2026 年 7 月上旬)

- ① JICA カンボジア事務所等との打合せに参加する。
- ② カンボジア側関係機関との協議及び現地調査に参加する。
- ③ 事前に配付した質問票への回答や上記②を通じ、担当分野に係る情報・資料を収集し、現状を把握する。具体的には以下のとおり。
 - ア) カンボジア側関係機関に関する以下の現状を分析する。
 - (a) 人員：部署別人数、直接的に海図作製・更新にかかる人員の人数、学歴、専門性、業務経験、雇用制度、人事異動制度、採用計画、教育訓練制度
 - (b) 体制・技術：海図更新にかかる港湾管理者等からの情報収集の仕組み、関係機関の補正測量等の海図更新にかかる技術的な能力
 - (c) 財務状況：年度別予算規模、内訳、予算獲得・配賦の仕組み、収入・支出、収入の増大余地または支出の削減余地。
 - イ) シハヌークビル港および周辺海域の電子海図作成・更新に係る現状・計画・将来方針について文献およびヒアリングを行い、分析する。
 - ウ) シハヌークビル港及び周辺海域の既存電子海図及び関連データの収集と分析を通じて、現状のデータ等の有無・内容を把握する。
 - エ) 電子海図作成・更新に必要な機材の有無及び維持管理状態・維持管理に関する活動の現状を確認する。機材は関係機関の所持有無と使用可否を確認する。主な必要機材は GPS、トータルステーション、測深器、動揺センサー、データ収録・解析・編集・作図ソフトウェア、プリンター、験潮器、基準点、電源を想定するが、他にも適宜確認するものとする。また、外務省による無償資金協力「航海用電子海図作成のための水路測量船建造計画」にて供与が想定されている測量機材についても確認する。また、これら機材が適切に維持管理されるための、体制、予算等を提案する。
 - オ) 外務省による無償資金協力「航海用電子海図作成のための水路測量船建造計画」にて供与が想定されている測量船について、望ましい運営

維持管理体、予算及び係留場所の提案を行う。

- 力) 現地再委託請負可能な組織、業務実施単価に関する情報を収集する。
 - キ) 海上作業にかかる許認可の必要性及び手続きを確認する。
 - ク) 海図作成対象海域の現況(海上交通、漁業活動、航路、泊地、錨地、荒天時の避泊地、実施中の海上作業及び計画、航泊禁止区域、測量船の係留施設等)を把握する。
 - ケ) 領海および EEZ の航行安全におけるカンボジア政府の管理責任および管理方針を把握する。
 - コ) 海図作成対象海域の海象及び気象を把握する。
 - サ) 本プロジェクトに関連する他援助機関の活動動向・連携可能性を確認する。
- ④ 本事業での電子海図作成・更新に係る活動についての計画を検討する。具体的には以下のとおり。
- ア) ③キ)ク)ケ)の結果に基づき、シハヌークビル港が国際港として発展し、カンボジア国の海上輸送の発展ひいては国際的競争力を強化していくために必要な電子海図の作成対象範囲を検討する。
 - イ) ③の結果にもとづき、本体事業における電子海図作成・更新のための具体的な作業内容及びスケジュールを検討する。
 - ウ) ④イ)を実施するために必要な投入を検討する。検討対象となる事項は主に以下の通り；
 - (a)日本側専門家の担当分野
 - (b)日本側専門家の現地渡航回数・現地/国内業務期間
 - (c)必要な供与・貸与機材(品目・調達可否・金額等)
 - エ) ④ウ)に基づき、想定する各活動の実施に必要な先方の実施体制(関連する組織、分野別能力・人数)の案を提案する。
- ⑤ JICA Climate-FIT(適応版)「4.防災」、技術協力用簡易版等を参考に、現在及び将来の気候変動の影響の予測・本事業に与える影響の評価(気候リスク評価)及び影響への対応策(適応オプション)の検討、裨益人口の推定を実施し、本事業が気候変動対策に資するか検証し、気候変動適応策案件としての案件形成の実施及び先方政府・実施機関との認識共有(M/M、R/D、M/D等への明記含む(“This project [may] positively contribute to climate change adaptation.”等))に協力を行う。

- ⑥ プロジェクトの活動に係る協議に参加し、支援する。特に、カンボジア側からの意見について、電子海図更新の観点からコメントし、論理的な結論が見出せるよう支援する。
- ⑦ 担当分野に係る PDM 案、PO 案、M/M 案の作成に協力する。
- ⑧ 担当分野に係る現地調査結果を JICA カンボジア事務所等に報告する。

(3) 整理業務 (2026 年 7 月上旬～2026 年 7 月下旬)

- ① 事業事前評価表 (案) 作成に協力する。
- ② PDM 案、PO 案、R/D (Record of Discussions) 案の作成に協力する。
- ③ 報告会等に出席し、担当分野に係る調査結果を報告する。
- ④ 担当分野に係る詳細計画策定調査報告書 (案) を作成する。

8. 報告書等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。なお、報告書を作成する際には、「コンサルタント等契約における報告書の印刷・電子媒体に関するガイドライン」を参照願います。

業務完了報告書 (和文 3 部)

2026 年 7 月 31 日 (金) までに提出。

担当分野に係る詳細計画策定調査報告書 (案) (和文) を添付し、電子データをもって提出する。

9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、以下 URL の「コンサルタント等契約における経理処理ガイドライン」最新版 (以下同じ) の「XI. 業務実施契約 (単独型)」及び「別添資料 2 報酬単価表」を参照願います。

<https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>

留意点は以下のとおりです。

(1) 航空賃及び日当・宿泊料等

航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含みます (見積書に計上して下さい)。

効率的かつ経済的な経路、航空会社を選択いただき、払戻不可・日程変更不可等の条件が厳しい正規割引運賃を含め最も経済的と考えられる航空賃を見積もってください。

10. 特記事項

(1) 業務日程／執務環境

① 現地業務日程

現地業務は2026年6月14日～7月3日を予定しています。

JICAの調査団員は本業務従事者と同時若しくは数日遅れて現地調査を開始し、本業務従事者より数日前に現地調査を終える予定です。すなわち、本業務従事者が単独で現地調査を行う期間があります。

② 現地での業務体制

本業務に係る調査団構成は、以下のとおりです。

ア) 総括 (JICA)

イ) 協力企画 (JICA)

ウ) 海上保安計画 (官団員)

エ) 海図作製計画 (本コンサルタント)

オ) 評価分析 (JICAが別途契約するコンサルタント)

③ 便宜供与内容

JICAカンボジア事務所による便宜供与事項は以下のとおりです。

ア) 空港送迎：あり

イ) 宿舎手配：あり

ウ) 車両借上げ：全行程に対する移動車両の提供 (JICA職員等の調査期間については、職員等と同乗することとなります。)

エ) 通訳備上：なし

オ) 現地日程のアレンジ：JICAが必要に応じアレンジします。なお、JICA団員到着前の関係機関へのアレンジについては、コンサルタントによるアポイント取り付けが必要となる場合があります。

カ) 執務スペースの提供：なし

(2) 参考資料

① 本業務に関する以下の資料が、ウェブサイトで公開されています。

・「カンボジア国電子海図策定支援プロジェクト ファイナルレポート」

<https://libopac.jica.go.jp/images/report/P1000030801.html>

(3) その他

- ① 業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。
- ② 現地業務期間中は安全管理に十分留意してください。現地の治安状況については、JICA カンボジア事務所などにおいて十分な情報収集を行うとともに、現地業務の安全確保のための関係諸機関に対する協力依頼及び調整作業を十分に行うこととします。また、同事務所と常時連絡が取れる体制とし、特に地方にて活動を行う場合は、現地の治安状況、移動手段等について同事務所と緊密に連絡を取る様に留意することとします。また現地業務中における安全管理体制をプロポーザルに記載してください。また、契約締結後は海外渡航管理システムに渡航予定情報の入力をお願いします。詳細はこちらを参照ください。
<https://www.jica.go.jp/about/announce/information/common/2023/20240308.html>
- ③ 本業務の実施にあたっては、「JICA 不正腐敗防止ガイダンス」（<http://www2.jica.go.jp/ja/odainfo/pdf/guidance.pdf>）の趣旨を念頭に業務を行うこととします。なお、疑義事項が生じた場合は、不正腐敗情報相談窓口または JICA 担当者に速やかに相談してください。
- ④ 発注者、受注者との間で業務仕様書に記載された業務内容や経費負担の範囲等について理解の相違があり発注者と受注者との協議では結論を得ることができない場合、発注者か受注者のいずれか一方、もしくは両者から、定められた方法により「相談窓口」に事態を通知し、助言を求めることができます。
- ⑤ 本業務については先方政府側の対応次第で、渡航時期及び業務内容が変更となる場合も考えられるため、具体的な渡航開始時期等に関しては JICA と協議の上決定します。
- ⑥ 公示内容の更なる質の向上を目的として、競争参加いただいたコンサルタントの皆様からフィードバックをいただきたいと考えています。つきましては、お手数ですが、ご意見、コメント等をいただけますと幸いです。具体的には、選定結果通知時に、入力用 Forms をご連絡させていただきますので、そちらへの入力をお願いします。

以上